

## ●農学部

### 1. 教育研究上の目的

本学部は、植物・動物の生命に関する基礎から応用までを科学し、それらを農学の発展に資することを目的としている。同時に動植物の育種、生産、加工など生産領域ならびに人と動植物との共生や生物介在療法など学際的領域を教育研究し、豊かな心と実学的知力を養い国内外において地域リーダーとして活躍できる意欲と能力を持った人材を養成する。

### 2. 教育目標

農学部は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 農業・畜産業に関する広範な知識と問題解決能力を持ち、農業や畜産関連産業の発展に貢献し得る能力を有する者。
- (2) 農学的見地から動物・植物の有用性を見出し、社会・環境への活用を考える能力を有する者。
- (3) 良質で安全な農畜産物の生産、加工、流通を通じて、安定的な食料生産に貢献し得る能力を有する者。

### 3. アドミッションポリシー

農学部では、動植物の生命現象の追求を基礎とし、国内外における農作物や畜産物の安全かつ安定した生産と供給、さらには動植物の活用による人の生活の質の向上など、広範な領域で活躍できる人材を求めている。

- (1) 自然に学び、自然について深く考えることのできる人。
- (2) 人類社会の直面する食料問題、資源問題や環境問題などの解決、生命現象の解明に正面から取り組む意思と意欲を持った人。
- (3) 国語、英語、数学はもとより自然科学に関する基礎的な学力を身に付け、それを応用することのできる人。

### 4. カリキュラムポリシー

農学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下のことに配慮しながら、教育課程を編成し、これに従い教育を行う。

- (1) 学生が総合的で幅広い知識を持つように、研究室配属前の学生に対し、学部共通科目を開講し、幅広い分野の教育を行うとともに、研究室配置後においても学科共通科目やコース選択科目を配置することで、幅広い分野の教育を受けられるようにする。
- (2) 強い好奇心と探究心、諸問題への高い見識と展望を持って、自ら解決する能力と総合的な判断力を持った学生を育成するため、講義科目と実験・実習、演習科目

及び卒業論文を効果的に配置するとともに、学習成果を社会生活や職業生活の場で生かせるよう、就農・キャリア科目及び学外実習科目を開講する。

- (3) 各学科で定める専門的知識と能力が身に付くよう、各学科のカリキュラムポリシーに従い専門科目を配置する。

#### 5. ディプロマポリシー

農学部では各学科の講義科目、実験、演習、農業実習、さらには卒業論文を通して、学科における広範囲な知識と判断力及び問題解決能力を身に付け、それぞれの立場から我が国の農畜産業やセラピー関連産業の発展に貢献できる能力を有した人材を育成する。具体的には、以下の(1)~(3)の能力を有し、さらに各学科で定める専門知識と能力が身に付いていると判断された学生に対し学位を授与する。

- (1) 動植物の育種、生産、加工並びに動植物との共生について総合的な判断力とバランス感覚を有している。
- (2) 動植物の育種、生産、加工並びに動植物との共生について強い好奇心と探求力を有している。
- (3) 動植物の育種、生産、加工並びに動植物との共生に関する諸問題への高い見識と展望を持ち、自ら諸問題を解決する能力を有している。